

# 東京工業大学歌

三好達治作詞

諸井三郎作曲

1 逝くものは斯の<sup>ゆき</sup>ごときか  
かく

長江は<sup>ちようこう</sup>昼<sup>ひる</sup>と夜<sup>よ</sup>となし

はるけき日 ゆかしきいさを

指す方<sup>さ</sup>のはた窮<sup>きは</sup>みなき

嘆<sup>たん</sup>じてん聖<sup>ひじり</sup>さびはや

2 悠久の<sup>こがね</sup>黄金<sup>たまき</sup>の環

めぐりくる陽<sup>ひ</sup>は久方<sup>ひさかた</sup>ゆ

青春<sup>せいしゅん</sup>の園生<sup>そのふ</sup>にたらふ

手力<sup>たぢから</sup>はわがもろ腕<sup>うで</sup>に

重<sup>と</sup>き扉<sup>わこうど</sup>をいざ若人<sup>わくじん</sup>よ

3 くろがねの扉を開け

工人<sup>こうじん</sup>よ 穷理者<sup>きゆうりしゃ</sup>よ友

かつは見よ みどりの木の間

すばる星<sup>ひ</sup> 灯<sup>てん</sup>を点じたり

友垣<sup>ともがき</sup>が七つの窓ベ

4 七彩<sup>しちさい</sup>のもの文すべ

ただ光<sup>ひかり</sup> 彼方<sup>かなた</sup>に白し

さやかなり月毛<sup>つきげ</sup>なりかし

騎<sup>き</sup>してゆけはるけくもこそ

大き岡<sup>おか</sup> こえていく岡

# 東京工業大学歌

三好達治作詞  
諸井三郎作曲

**Andante con spirito**

The musical score consists of three staves of music for voice and piano.

**Staff 1 (Treble Clef):** The vocal line begins with a rest followed by a dotted half note. The lyrics are:

- (1) ゆくも のうねい
- (2) ゆうきゅう
- (3) くろちか
- (4) しりさい

**Staff 2 (Bass Clef):** The piano accompaniment starts with a piano dynamic (*p*). It features a bass line with sustained notes and chords.

**Staff 3 (Bass Clef):** The piano accompaniment continues with a bass line and chords, including a section marked *mf*.

**Staff 4 (Treble Clef):** The vocal line continues with lyrics:

- のねらのこのをあとたひやきまらす
- かきけべ
- ちよめこた
- 一ぐうだ
- うりじひ
- とくんか
- うう一
- はるより
- ひひきか
- るはうな

**Staff 5 (Bass Clef):** The piano accompaniment continues with a bass line and chords, including a section marked *p*.

**Staff 6 (Treble Clef):** The vocal line continues with lyrics:

- とひりたよさしにとかよしなたとろ
- しゆもし
- はせかさ
- るいつや
- けしはか
- きんみな
- ひのより
- ゆそみつ

**Staff 7 (Bass Clef):** The piano accompaniment concludes with a bass line and chords.



# 建 築 科 々 歌

明治42年

作 詩 村 井 武

## 第 1 章

ナイルの岸の深みどり 芦の葉摺<sup>すり</sup>れの音さへて  
雷を破るロータスの 韶に明くる朝空に  
見よ東の紅の 雲をつんざき現れし  
朝日に紅きピラミッド あゝ我が業の朝ぼらけ  
苔<sup>ひんがしきれない</sup>を払へば千年の 遺蹟をこゝに残したる  
バビロンの跡草青く チグリスの水風寒し  
誇り栄へしグリースの アゼンの宮の玉垣に  
あゝアカンサス茂りあふ 昔のあとは猶匂<sup>にお</sup>ふ  
精悍の國文明の 国と知られしローマンの  
五範のあとは今もなほ 西と東の極みまで  
ルビコン河畔君見ずや 穹窿高く天を抜き  
凱旋門はおごそかに 彼等の偉業花のごと  
ローマの光暗に消え 新月の国きらめきて  
色彩陸離<sup>やみ</sup>のビザンチン 遺<sup>のこ</sup>すは高きサンソフィヤ  
北光の影淡くして 空暗胆の北歐の  
天に誇るやゴシックの 雪をつんざくハイピッチ  
ルネッサンスの旗風に 時世<sup>じせい</sup>の潮<sup>うしおうずま</sup>渦きて  
イタリアの空雲迷ふ そこに閃めく新曙光  
光は闇に輝きて 年を重ねる四百年  
時は流れて人去りて 嘘混乱の世となりぬ

## 第2章

扶桑の空の離れ島 神代の古き森かげに  
千木高々と神さびし 昔乍らの宮造り  
古き詩人が青丹よし 奈良の都と歌ひけん  
その面影をうつしたる 青葉に丹し東大寺  
みやびの都山城に その名も清き加茂川の  
ひとりに建てし法皇の 宮居の跡ぞなつかしき  
矢たけびの声絶へずして 戰塵の影淡きとき  
輝きわたる金閣寺 室町の名の美しや  
箱根の東露滋く 八千草深き武藏野に  
城壁白く築きたる その名も高し千代田城  
松の翠の永久に かわらぬ跡ぞ面かしけれ

## 第3章

今隅田なる河岸の 桜のもとに眉あげて  
未だ薔のロータスは たゞ曙の風をまつ  
あゝ年を歴る四千年 春風秋雨夢のあと  
ナイル音なく流れゆき チグリスの水永久に立つ  
科学の光つよくとも 我建築の業なくば  
誰かは知らん文明の 泉のこゝに湧きたるを  
歌へや奮へ我が健児 逝きぬマイケルアンゼロは  
最後をセントピーターの ドームの裡に遺しつゝ  
去りぬ怪傑マホメット 剣とコーランかざしつゝ  
聖詩歌ひて築きたる 彼の聖殿を残しつゝ  
再び歌へ諸声に 我聖靈の此の土地に  
不朽の業の跡とめん 偉大なるもの我にあり

# 建築科科歌

(採譜 平井 聖)



# 校 歌

作 詞 土 井 晚 翠

作 曲 瀬戸口 藤 吉

昭和の四年の うれしき春に  
東京工業大学 成りぬ  
ほまれの前身 望の未来  
もろとも輝く ああわが母校  
つとめよ幾千 ああわが健児  
亜細亜の魁 尊とき使命  
進みて大陸 率ふる時に  
国是は工業 わが道遠し  
億万数へん 子孫の恵  
つとめよ幾千 ああわが健児  
誠の一徳 基をなして  
祖国と世界の 栄を來し  
人文史上に 功を建てて  
四海に放たむ 不朽の光  
つとめよ幾千 ああわが健児

# 東京工業大学 校歌

雄大に  $\text{♩} = 100$

土井 晚翠 作歌  
瀬戸口藤吉 作曲

しアまうじこわとののよさいなぎつんガとのヶくうともれウとしつひきキをはシなるメし

にいて二とうきょう一とこタせうイカぎりい一クのだヒさいキかがユエくるをなトキた

ぬ二し二ほじまんれせぶのハんぜこしタはしきうぐにのついぞガさ

みミほ二のチをみトたらうていシて二もオしろくかとまいもんにか力はがゾな

やへた  
一くんむ  
あシふ  
一ソき  
わソう  
がノの  
ぼメひ  
ニグカ  
うミリ  
一ツツ  
とトと

*p*

*f*

This system consists of three staves. The top staff is vocal, the middle staff is piano treble, and the bottom staff is piano bass. The vocal line features eighth-note patterns with grace notes. The piano parts provide harmonic support with sustained notes and eighth-note chords.

めメめ  
よヨよ  
いイい  
くクく  
せんせん  
あアア  
一ニ一  
わワわ  
がガガ  
けケケ  
んンん  
じジジ  
一ニ

*f*

*3*

*3*

*3*

This system continues the musical piece. The vocal line includes some sustained notes and eighth-note patterns. The piano accompaniment features sustained notes and eighth-note chords, with dynamic markings *f* and *3* indicating triplets.